

2025年度ニチイキッズ南浜松保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～2月27日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	『おもいっきり』『遊ぶ』『学ぶ』について考え保育の向上に努めた。 保育計画をしっかりと立て、保育内容の充実を図った。 保育士、栄養士が連携して食育を進め充実した内容を行うことができた。
子どもの発達援助	子どもの発達段階に合わせた働きかけを園全体で理解し、気持ちに寄り添った声掛けや援助を行った。市の巡回相談を利用したり、研修を受け、クラス運営や子どもの理解について学びを深め、よりよい援助ができるようにした。
保護者に対する支援	子ども達の保育園での様子をコドモンや送迎時に個別に伝えてきた。職員との信頼関係を構築し、相談しやすい環境を作れるようにした。保育参加、給食試食会、保護者参加行事を通して園の様子がより分かるようにした。
保育を支える組織的基盤	毎日の15ミーティングでの話し合いを充実させ職員が連携して保育を進められるようにした。保育の課題について丁寧に話し合い、改善策を考え、実践、反省の流れを構築し、保育の充実が図れるようになった。職員が主体となって子どもを保育していくために活発に意見交換ができるようにした。

総評
<p>保育の質の向上のために計画をしっかりと立て、保育内容の充実を図ることができた。</p> <p>子どもの発達、情緒面などに目を向け、よりよい援助ができるように園全体で話し合い、共通理解のもと保育を進めることができた。課題を見つけ、話し合い、実践し、改善するというサイクルができた。</p> <p>家庭での子育ての支援ができるように、保護者の方と話す機会を多く持つようにし、信頼関係を築くことができた。</p> <p>安心安全な保育園運営ができるよう安全計画に基づき避難訓練や災害対策を行った。</p>